

自治協ニュース

第3008号
発行者
八本松住民
自治協議会
H31. 2. 20

八本松の伝統行事 とんどまつり

アメニモマケズ 記憶に残る餅焼き

自治協文化部会
とんどまつり実行委員会



小雨の中の餅焼き

2月3日(日)、八本松小学校グラウンドで「八本松小学校区とんど祭」が小雨にもかかわらず、子ども達から高齢者の方まで約四百人もの人が集まり行われた。

巨大な鏡餅焼いたぞ!



午後から雨が心配され、開始を予定より30分繰り上げ、10時に19名の小学生の手で点火された。高さ10mもある二つの大きな「とんど」は、無風状態のなか勢いよく真直ぐに燃え上がり、会場は歓声と燃え上がる竹の音に包まれた。餅焼きができるま

「茅の輪の輪くり」(茅の輪は竹の枝で作った高さ約2メートルの馬蹄形の輪でこの中を通り厄払いができる)が設置され、子ども達は仲間

での間、子ども達には恒例のゲームやお菓子を、大人の皆さんには甘酒、豚汁、お酒が提供され世間話に花が咲いていた。また、今年には自治協の土久岡会長により



茅の輪 みんなでぐりました

と一緒は何度もぐりぬけ、新体験に満足げだった。

餅焼きでは、かわいらしい餅から巨大な鏡餅まで「おき」の周りにずらりと並べられ、顔を赤くしながら竹を回す子ども達を見て「とんど

は今も昔も変わりませんな」とある高齢者は感慨深げだった。予報より早めに小雨が降りだし、皆さん用意した傘を持ちながらの餅焼き。「大変ですね」と声をかけると「これはこれで楽しいです」と笑い飛ばされる方や、ご家族が一つの傘で餅を食べる微笑ましい風景が多く見られ、参加者の方にも記憶に残る「とんど祭」となった。

今年には昨年の豪雨等の災いを克服する年でもある。



これはこれで楽しいです(^_^)



一つ傘の下で



つきたての餅です



おいしいですかに両手でサイン

八小5年PTC活動
青少年育成部会協賛

みんなで巨大なケーキ作り

子ども達の素晴らしい力を引き出す

12月15日(土) 青少年育成部会は、八本松小学校5年PTC(保護者&先生&児童)が行う物づくり体験・「みんなで巨大なケーキ作り」に協力した。



完成した巨大ケーキの前でポーズするクラスの仲間

5年生は「挑戦」を学年目標とした学校生活をおくっており、このケーキ作りもそのひとつ。

青少年育成部会は5年生のPTCからケーキ作りの相談を受け企画。地元ケーキ屋さん(パティスリー・ソノフ)と一緒にこの活動を支援した。この日は5年生の児童、きょうだい、保護者の皆さん約200人が5年生の教

右のケーキのデザイン画に選ばれた早野君

室の前に集まった。ケーキ作りの作業は、ケーキ屋さんで作られた一組12個のケーキの生地を、前もって児童が描いたデコレーション用のデザインを基に、チョコやカラフルなフルーツソース等でトッピング、最後に全部のケーキを合わせて巨大なケーキを作る複雑なもの。



多くの材料

トッピングはクラス12の班で、ケーキ合わせはクラス全体で作業するため、児童の調和力、想像力、集中力等総合的な力が試される。児童たちは保護者の皆さんの支援もあり、自ら様々な工夫をこらした難なく複雑な作業を時間内にやり遂げ、その発想力と集中力に感服した。仕上げは、地元ケーキ屋さんによるクリームで装飾する作業。プロの技に児童たちは目を見張らせ完成した瞬間に各クラスとも大きな拍手が湧き起った。



協力し作業に集中

協力していただいたパティスリー・ソノフさんに感想を聞くと「少し難しいかと思いましたが、子ども達が素晴らしい力を発揮してくれ、カラフルでおいしそ



発想豊か スプーンに素材を載せトッピング



プロの技に注目



パーツ完成

合体の瞬間

うなケーキができました。また、みんな楽しそうに食べてくれて地域貢献した甲斐がありました」と話され、児童の「挑戦」は大成功に終わりました。